

平成30年6月定例会一般質問表

6/7、8、11

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>1. 2期目への挑戦について 市長は、災害復旧や、子育て環境整備等の福祉充実など各方面に誠意ある姿勢で臨まれ、市民との対話を重視し、4年の市政運営を担ってこられました。 そして、この度の改選では、いち早く2期目への立候補をなされました。1期目は身の丈にあった市政運営を掲げられましたが、この度は「挑戦する市政」を掲げておられます。この「挑戦する市政」に込めた思いをお尋ねします。</p> <p>2. 第二次男女共同参画なんようプランについて 男女共同参画社会基本法は、日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取り組みが、国際社会における取り組みとも連動しつつ、着実に進められるよう1999年（平成11年）に施行されました。第14条第3項には、市町村男女共同参画計画を定めることとしています。 また、付帯決議では「地方公共団体において、積極的改善措置の積極的活用も図ることにより、その着実な進展を図ること。」とされました。 19年の年月が経過しており、第3次男女共同参画基本計画では、2020年までに女性の人材を30%に引き上げることが主軸となっております。 南陽市でも、昨年、第二次男女共同参画なんようプランが策定され、計画期間を2017年（平成29年度）から2026年（平成38年度）までの10年間としました。 第2章、取組みの柱I. 女性が活躍できるまちづくりの基本施策2による、審議会等への女性参画促進では、えくぼ女性ネットワーク会議などでの取り組みが見られますが、「市の女性管理職の増加と活躍を推進します」の取り組みでは、特に課長補佐級以上の男女構成比率の改善に遅れが生じているように感じます。 現状と今後の取り組みについて伺います。</p>	市長  市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>3. 人事異動の考え方について 一般的に公務員は、様々な事業に対し幅広く知識を身に付け、自身の視野を広げていくことが求められています。 人事異動は、大きく分けて「癒着防止」「人材育成」「適性の発見」という三つの理由があるといわれています。</p> <p>(1) 市長の人事に対する基本的な考えを伺います。</p> <p>(2) 国や県への出向は、いち早い情報の収集や対応が図れ、市の更なる活性化のためにも大きなメリットがあると思います。また、職員のレベルアップも図れることとなります。</p> <p>① これまでの出向等の実績と目的を伺います。</p> <p>② 情報の先取りは、市内の農業・商業・工業・サービス業など全業種にとって非常に重要な経営判断資料となります。今後の出向への考えを伺います。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	4 番 船 山 利 美 議 員	<p>1. 変化するふるさと納税制度の今後の取り組みについて</p> <p>(1) 現在のふるさと納税制度としては、暴走する返礼品のあり方に、ストップをかける総務省という構図ではないかと思う。今年の通知では返礼割合が3割を超えるものは、特に対応の徹底を求めている。更に返礼品は地域の活性化を図ることが重要な役割として、区域内で生産されたものを送付するよう自治体に申し入れている。本市も寄付額の伸びに合わせて予算書の歳入もここ数年増額を見込んできたが、今年度は昨年より1億円の減額の見込みとなった。一方で、現在も最高還元率90%と、3割以上を還元している自治体が存在しているが、大多数の自治体が見直しをしているため、足並みを揃えざるを得ないといわれている。しかし、返礼率が落ちたことを理由に寄付をやめる人は少ないと見込まれており、更に寄付する人は納税者の2割程度ということで、まだまだ伸び代があるといわれている。自治体の有効な財源確保の手段でもあり、地域活性化と繋がることから今後の取り組みについて何点か質問する。</p> <p>① 返礼品の種類によっても異なると思うが、本市は現在、どの程度の還元率になっているのか。</p> <p>② 使い道や額を決めて寄付を募るクラウドファンディング型のふるさと納税を総務省でも推奨している。多くの自治体でも取り組みを始めているが、取り組みなどは考えておられるか。</p> <p>③ 複数のポータルサイトを利用することも有効と思うが、その辺について考えておられるか。</p> <p>④ 今後も積極的な取り組みをされていかれるのか、新たな戦略などは考えておられるのか。</p> <p>以上について見解をお伺いする。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	4 番 船 山  利 美  議 員	<p>2. 白岩市長 1 期目の市政運営及び 2 期目への意欲と公約について</p> <p>(1) 白岩市長は昨年 9 月に正式に 2 期目への出馬の意向を示され、更なる市政発展に向けて意欲を示された。この 4 年間、市民のために精一杯努められたことは評価されると思う。また、議会において 1 期目の公約などについて答弁されているが、その中で「多くの公約についてはほぼ全てに着手し、多くの公約が実現できた」との答弁と共に、一方で「現在の社会状況では公約の実現がベストな選択とならないことも想定される」という含みのある答弁も頂いた。</p> <p>マスコミ等では無投票当選が確実との報道もされており、私個人としても確信しているところで、当然継続する身の丈の市政や今年度の施政方針などについて、また、2 期目の公約などについてもリーフレット等を出されているが、齟齬が無いかなども含めて質問する。</p> <p>① 今年度の施政方針で「次の 50 年、100 年に向けて」や「数十年、百年先の姿に責任もつ」と再三述べておられるが、50 年、100 年先への取り組みとは具体的にどのようなものか。</p> <p>② 対話のある市政について、1 期目のリーフレットで「市民の声に耳を傾け、職員が働きやすい環境を作り市のために政策を実現していく」とあるが、達成出来たと考えておられるか。</p> <p>③ 人口減少対策の一つとなる交流人口拡大や地域活性化について、具体的施策の見通しはあるのか。</p> <p>④ 4 年間の身の丈に合った市政について、市民の理解が十分得られたと考えておられるか。</p> <p>以上見解をお伺いする。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	1 番  山 口  裕 昭  議 員	<p>1. 南陽市公共施設等総合管理計画について  急激な少子高齢化及び人口減少社会の中、施設の統合や廃止などが喫緊の課題となっている。南陽市においても使用されなくなっている公共施設は複数存在しているが、現状明確な使用方法が示されているものはあまりない。これらの施設は、利用目的が終了したことにより解体される場合もあるが、老朽化などにより耐震機能が著しく低下している場合を除き再利用が可能なものも多い。そもそも公共施設は、その地域の中心的役割を担ってきた交流施設である場合がほとんどで、そのようなシンボリックな施設が失われることによる住民の喪失感は数字では表せない場合も多いのではないかと考え、以下の質問を行う。</p> <p>(1) 市内施設の現状について</p> <p>① 市内の公共施設で現在その本来の使用目的を喪失、または施設統廃合の予定があり、今後の明確な使用予定がない施設はどの程度あるのか。</p> <p>② 現在使用目的が定まっていない施設の中で、活用が検討されているものはあるか。</p> <p>③ その施設の種別は、具体的にどのような分類か。</p> <p>ア. その地域別の分類</p> <p>イ. その建設時期と耐震機能の有無</p> <p>ウ. その本来の使用目的と、予定している今後の使用方法</p> <p>④ 現在使用していない施設にかかる管理費はどの程度か。</p> <p>⑤ 管理費の内訳で最も多いものはなにか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>2. 子供の遊び場について</p> <p>近年、子供たちが遊ぶ場所が減ってきている状況がある。私たちが子供の頃は自動車の交通量も少なく、近くの裏道や自宅周辺では「鬼ごっこ」や「かくれんぼ」などが行われ、秋になれば刈取りの終わった田んぼで走り回り、冬には雪に覆われた田んぼで雪合戦など多種多様な遊びがおこなわれていた。しかし、現在は住宅地の裏道にまで自動車が溢れ、田んぼの周りも多くの自動車が走るようになり、子供たちが安心して遊べる環境は急激になくなりつつある。また昨今の住宅事業では、大人数の子供たちが屋内で走り回れるような住宅もなくなり、冬期間や悪天候時に子供たちが遊べる場を探すことが、年々難しくなっている。このような状況を踏まえ、以下の質問を行う。</p> <p>(1) 子供の遊び場について</p> <p>① 現在市内には子供が無料で遊具などを利用して遊べる施設は、屋内屋外で何か所あるか。</p> <p>② そのうち、冬期間や悪天候時にも利用できる全天候型の施設はあるか。</p> <p>③ 近隣自治体の状況は把握しているか、また近隣自治体と比較して市内の状況をどうとらえているか。</p> <p>④ 現在の状況を踏まえて、今後拡充の考えはあるか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	3 番 高 橋 一 郎  議 員	<p>私は「住んでみたい、行ってみたい南陽市」をめざして、  ※ロハスシティー南陽を唱え、一般質問を通し政策的な提案をしています。</p> <p>※ロハス:Lifestyles of Health and Sustainability 頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル「LOHAS」のこと。</p> <p>1. 南陽市地域福祉計画：本市の福祉ビジョン  南陽市地域福祉計画（平成30年3月策定）によれば、本市の高齢化率は全国平均より高く、今後もさらに75歳以上の後期高齢者の占める割合が増える見込み。2015年～2025年にかけて10年間の後期高齢者数は約1.06倍と全国平均（約1.32倍）を下回るが、少子化の影響等から2040年には人口の4人に1人が75歳以上の高齢者となる。介護の地域資源を確保することが必要で、「地域包括ケアシステム」を構築、深化させて「地域共生社会」を実現することが重要な課題、とあります。</p> <p>この策定には、2,000人を対象とした市民アンケート調査をしたことにより、多くの課題が浮かび上がっています。そのことを踏まえながら具体的にどのように推進していくのか、市長に次のことをお伺いします。</p> <p>(1) 温泉を活かした健康づくりの推進  地域での居場所づくりの充実：本市の資源である温泉施設を活用した高齢者の自主活動の場を設ける。（シニアカフェ支援事業）  本事業により、閉じこもり防止、高齢者の相互交流、温泉により血行促進効果等が相まって、健康寿命の延伸及び介護予防の効果と、その後、住民主体のサービスに発展していく可能性も期待できる、とあるが、その実現に向けて、ハイジアパーク南陽をシニア健康施設に特化して室内スポーツ施設を兼ねた保養施設に改善してはどうか。</p> <p>(2) ボランティア等福祉の担い手の育成  ボランティアポイントによる福祉バンク制度や有償ボランティアの仕組み等、持続可能な制度の導入に向けた方策は。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
4	3 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>(3) 除雪ボランティア：市民アンケートによると、日常生活の困りごとで「除雪等」との回答が22.4%で全世代を通じて最も高い割合。      経済的に厳しい高齢者世帯にとっては、冬期間の外出や社会参加の阻害要因で切実。除雪などの活動は地域ボランティアになじむもので、社会福祉協議会が有償及び無償のボランティアの体制との構築と担い手の育成が求められる、とあるが、地縁団体としての自治会などの互助、共助を含めボランティアの育成をどのように取り組むのか。</p> <p>(4) 障がい児・障がい者福祉対策      希少難病AADC（運動神経を司る酵素）欠損症は、日本で3人おり、そのうち2人が兄弟で本市におられます。治療法がないと言われた難病は最先端の遺伝子治療で改善が見られるようになり、その軌跡を映画と本にまとめたのが「奇跡の子どもたち」。難病に限らず医療ケアを必要とする障がいを持つ子ども達が安心して専門に医療ケアを受けられる施設・事業所が本市にはありません。この切実な状況を改善するための方策についてお伺いします。</p> <p>(5) 福祉の心を育む機会づくり      様々な成長過程において、世代間交流や地域間交流等の活動に取り組み、互いに励まし、助け合い、協調関係を学ぶ心と体が調和した「知・徳・体」教育を進める、とあるが、多世代交流や地域間交流で福祉の心をいかに醸成するか。その具体策は。</p> <p>(6) 福祉・癒しのまち南陽      南陽市雇用創造協議会「実践事業アドバイザー指導」の中で高木先生の観光推進事業としての提言で、南陽市を癒しのまちにすることが近隣の温泉地と差別化するユニークな事業として必要とあります。赤湯温泉を核として、「福祉・癒しのまち南陽」として取り組むことはいかがでしょうか。</p> <p>(7) 広報活動に家庭に1冊ガイド本      観光・福祉その他市や地域のお祭りイベント等重要なことが一目見てわかるガイドブック（保存版）を作成し、全戸配布してはいかがでしょうか。</p>	市 長 関係課長



受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
5	7 番  片 平 志 朗  議 員	<p>1. 地域防災計画の推進について (根拠法 災害対策基本法第42条第2項)</p> <p>本市でも平成14年に地域防災計画を全面改訂し、近年の異常気象による豪雨災害を経験し、その都度改正されてきた。災害経験や行政による啓発活動の努力もあって地区住民の防災意識も高まり、自治会の自主防災組織率は97%までになっている。しかしながら、組織を立ち上げても、今後何をどのように進めていったら良いのか分からないという声がよく聞かれる。これらの組織が災害の際に真に機能を果たすためには、地区コミュニティー（地区住民）における地区防災計画の作成が必要と考える。そこで、地区防災計画の推進について何点かお伺いする。</p> <p>(1) 地区防災計画の必要性の認識について。</p> <p>(2) 作成に当たってのサポート体制の確立について。 説明会の開催・有識者アドバイザー助言体制・作成費用の助成等。</p> <p>(3) 防災セミナーの開催を。(自主防災会対象に)</p> <p>2. 公共施設等管理総合計画について</p> <p>人口減少が進む中で、様々な公共施設が老朽化し、修繕や更新期を迎える。また施設の維持管理費が年々嵩む現状の中で、施設の適正配置や有効活用による効率化を図り、財政負担抑制や平準化を図り、長期的かつ総合的な管理運営が求められている。平成26年総務省により「公共施設等管理総合計画」の策定の要請を受けて、本市では平成29年3月に基本計画と管理計画が策定された。そこで、今後の進め方も含め何点かお伺いする。</p> <p>(1) インフラ更新費用と大規模改修費用の財源確保は。 計画の中で年間必要費用が27.2億円、年間充当可能費用は22.5億円、年間不足額は4.7億円とあるが、その財源の確保は。</p> <p>(2) 施設総量(施設の延床面積)の縮減目標について、平成58年まで20%縮減と計画されているがその根拠は。</p> <p>(3) 宮内公民館建て替えの個別計画についてどのように考えているのか。</p>	市 長 関係課長            市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	6 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>1. 中高年における「ひきこもり」について</p> <p>(1) 中高年のひきこもりは、社会とのつながりが薄く家族だけで課題を抱えこみ、行政や医療機関などの支援を受けられないまま孤立しているケースが少なくない。</p> <p>また、支える立場であった親の高齢化で共倒れのリスクを抱えながら、80代の親が50代の子どもの面倒をみる「8050問題」という言葉が生まれるほど事態は深刻です。</p> <p>ひきこもりは長期化するほど解決が難しくなり、病気や介護、経済的困窮などの問題が複合的に絡むだけに各自治体においても苦慮しているのが実状である。政府は今年度から40～59才を対象とした初の全国調査をするとし、ひきこもりの人数の推計や生活状況などを把握し、今後の支援策に生かすとしてきました。</p> <p>さらに平成30年度政府予算において、生活困窮者就労支援事業費等補助金（平成25年度～）が385億円ついております。おおまかな内容は、一部にひきこもり支援に携わる人材養成研修事業があります。都道府県・市町村に対し、ひきこもり支援が適切に行える人材を養成することで、ひきこもりに対応できることで必要な支援の質の向上を図ることが目的です。</p> <p>その対象者は、①ひきこもり支援を担当する市町村職員、②支援関係機関の従事者です。研修内容としては、ひきこもり支援に必要な知識、技術などとひきこもりサポーター養成研修もあり、ひきこもり本人や家族等に対する支援に関心のある者が対象となっております。</p> <p>① ひきこもり世帯（人数）などの調査の実施をいつから始めるのか、すでに行っているのか伺います。</p> <p>② 本市関係部内における取り組みはどのようにされているのか伺います。</p> <p>③ 本市において、支援従事者養成研修に職員を積極的に派遣しているのか、また、その予定、計画はあるのか伺います。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	6 番 白	<p>④ ひきこもりサポーターの支援の現状と取り組みについて伺います。</p> <p>⑤ ひきこもりになっている本人や家族の置かれている現状において、どのような支援が求められているのか。内容は様々であり、かなりデリケートでナイーブな問題だけに慎重な対応が求められると思いますが、少なくとも相談を受け、関係機関と連携していく体制が必要だと思います。各都道府県や政令市に約68カ所の相談窓口「ひきこもり地域支援センター」が開設されておりますが、本市においても専門的な支援センターである相談窓口の設置が必要だと思いますが、検討することが可能か伺います。</p>	市 長 関係課長
	鳥 雅 巳 議 員	<p>2. 小学児童の登下校時の安全対策について</p> <p>(1) 過日、新潟市内で7才の女子児童の身に起こった痛ましい事件がありました。児童は下校中にひとりきりになった所を連れ去られたとの指摘でした。このようなことを未然に防ぐことは難しいかと思いますが、そのような事件が、また類似するような事件、事故が全国各地で起きていることが報道されるたび、保護者や教育関係者、また国民が怒りや悲しみに包まれることとなります。理不尽な事件や事故が起きないように、子どもの安全を守る必要性を改めて認識し、不審者から、また交通事故からの危険を察知、回避できる術を身に付けることが大切だと思います。</p> <p>① 学校などで教育訓練の一環として、適時、実施すべきと思いますが、また、実施しているとすればどの時点で実施しているのか、予定はあるのか伺います。</p> <p>② 事件の報道があった場合に限らず警察関係者を招き、PTA（保護者）、教育関係者などと事件の事例を説明していただく懇談会を実施する、機会を設けることも大切と考えますがいかがでしょうか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	6 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>③ 小学校など新入生が入学して2カ月が過ぎ、通学にも慣れ始めてきた頃と思います。しかしながら、慣れるにしたがって危険を見落としがちになるのも事実です。横断歩道の渡り方、左右の確認、蓋の外れた側溝など数えればきりがありません。通学路については、以前に実施されました危険箇所などの一斉点検を実施すべきと思いますがいかがでしょうか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
7	11番 板垣 致江子 議員	<p>1. 南陽スカイパークのさらなる整備で、南陽の魅力発信を</p> <p>今年度、いよいよ東北中央自動車道の南陽高島、山形上山間が開通することにより福島、山形、宮城を結ぶ道路交通網が形成されます。南陽市では「観光の資源のネットワーク化」として、この交通網をいかし、隣県との広域的な観光振興、来訪者拡大を図るため、各団体と協力しながら積極的に取り組むとともに外国人観光客の誘客を図るべくインバウンド事業を継続推進していくとされています。しかし、やはり心配される事は通過される南陽市になることです。南陽市には多くの観光資源がありますが、今まで以上に情報を発信、魅力を高めていかなければなりません。スマートインターチェンジの設置も望まれます。</p> <p>南陽スカイパークは、いま多くの注目を集めています。十分一山と高ツムジ山からの白龍湖と置賜盆地を眺める景観のすばらしさは「やまがた景観物語」おすすめビュースポット33’、山形百名山に選ばれています。さらに、南陽市のバリアフリー観光アドバイザーに委嘱されている加藤健一さん（山形バリアフリー観光ツアーセンター代表理事）たちの活動で、体の不自由な方にも景観や体験フライトを楽しんでいただける観光スポットとしてTVなど県内外のメディアや台湾のTVなど多くの取材や紹介が相次ぎ、先進的なバリアフリースカイスportsエリアとして大変注目を集めています。今、この機会に日本一飛びやすく、景観の良い「スカイパーク南陽」を市の宝としてしっかりアピールして行くべきと思います。ただ現状として課題も多く、さらなる整備をし、観光スポットとしてグレードを上げることも必要と思います。市長のお考えをお伺いします。</p> <p>(1) 十分一山の景観は昼ばかりでなく、星空や夜景もすばらしく、秋には朝にすばらしい雲海がのぞめる。(2017年1月議会だより表紙で紹介) フライトする人だけでなく、一般の人にも楽しめるようキャンプ場としての整備を。観光スポットとしてオートキャンプ場の整備は、東北中央自動車道から南陽への誘客になり、スマートインターチェンジの必要性にも。</p>	市長 関係課長



受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
7	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	(3) 27年度に子育て環境の充実として、1,800万円をかけて屋内遊具が設置されました。こどもの広場は多く使われているようですが、サーキット場はほとんど使われていないのではないかと。あのスペースがもったいないとの市民の声が多く聞こえます。もっと市民が利用できるスペースに改善すべきではないでしょうか。たとえば、体育協会と協力してのスポーツ教室など、運動不足が懸念されている若い人たちも夜に利用、入浴して帰ることができる、そんな多目的スペースに改善できないか。市長のお考えをお伺いします。	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
8	15番 佐藤明	<p>1. 白岩市政の政治姿勢について</p> <p>(1) 白岩市長は、4年前対話のある市政をスローガンに立候補され、見事当選を果たし、1期4年間の任期を終わろうとしております。この4年間、身の丈にあった市政、対話で生まれる住みやすいまち、子育てしやすいまち、高齢になっても不安のないまち等々多くの公約をされて、その実現に奮闘されてきました。白岩市政4年間の評価、公約実現の状況等どのように総括されておられるか、市長のご見解を。</p> <p>(2) 昨年9月議会において、7月に行われる市長選挙に出馬の表明をされました。今次2期目の市長選挙にあたり、どのような政策をかかげ市政運営にあたるのか市長のご見解を。</p> <p>(3) 市政を担う上でいま早急（喫緊）にしなければならない重点課題、中期、長期でしなければならない課題があるかと存じますが市長のご見解は。</p>	市長
	議員	<p>2. 旧市民会館跡地の計画について</p> <p>(1) 去る3月議会の予算特別委員会で、高橋一郎議員より旧市民会館の利活用策について質問をされました。市長は「個人的見解だが、地域要望は駐車場の確保、公衆浴場の老朽化の解消等」を答弁されましたが、具体的にどのように対応されるのか市長のご見解を。</p>	市長
		<p>3. ハイジアパーク南陽について</p> <p>(1) ハイジアパーク南陽は営業開始から25年目になり、営業年数の経過とともに、施設の老朽化に伴って施設の維持管理等に毎年のように一般会計からの繰り入れが多くなっているのが現状です。また、集客確保についても年々厳しさを増しており、一層の経営努力が求められております。今後のあり方、経営計画をどのようにされるのか市長のご見解を求めるものであります。</p>	市長